

NEWS LETTER

平成24年7月 全国百貨店売上高概況

平成24年8月21日

I. 概況

1. 売上高総額	5,759億円余
2. 前年同月比	-3.3% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 249店 (平成24年6月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,293,439㎡ (前年同月比:-2.2%)
5. 総従業員数	85,085人 (前年同月比:-5.3%)
6. 3か月移動平均値	12-2月 -0.1%、1-3月 4.0%、2-4月 5.1%、 3-5月 4.7%、4-6月 -0.3%、5-7月 -1.9%

[参考] 平成23年7月の売上高増減率は-0.1% (店舗数調整後)

【7月売上の特徴】

3か月連続の前年同月比マイナスとなった。

7月は中旬まで、九州北部の豪雨災害をはじめ全国的な低温や天候不順によって集客に影響を受けたほか、セールの分散化で一部需要の後ろ倒しが見られたことなどから商況は低調に推移した。一方、高級時計や宝飾品等の高額商材(美・宝・貴:-0.3%)は比較的堅調に推移し、月の後半からは、天候回復・気温上昇と併せて、各店における催事・プロモーションが積極展開されたことで、主力の夏物商材が活発に動いたものの、土曜日が前年比で1日少なかった(経験値による寄与度-1%前後)こともあり、前半の減少分をカバーするまでには至らなかった。

その他具体的な要因としては、昨年復興需要で大きく伸びた東北・仙台地区が3か月連続で前年を下回ったこと、6月の早期受注が好調だった中元商戦は7月に入りやや低調に推移したこと、内食志向を背景に惣菜(+0.6%)が引き続き好調を維持したこと、回復傾向にある訪日外国人は売上・客数共に約3割増(売上高:+29.0%、購買客数:+32.5%)と着実な伸びを示していること、等が報告されている。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「7月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)。

◇ 月の前半は梅雨前線が停滞し曇りや雨の日が多かった。特に九州北部地方では記録的な大雨となり甚大な災害が発生した。中旬以降は太平洋高気圧が本州付近で強まり、全国的に晴れて気温が上がった。

(2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比+0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日(〃 -1日/土曜1日減)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した:11店、②変化なし:22店、③減少した:97店、④不明:40店

(5) 7月歳時記(夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み)の売上(同上)

①増加した:7店、②変化なし:40店、③減少した:59店、④不明:64店

(6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)

①増加する:18店、②変化なし:83店、③減少する:22店、④不明:47店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2012年07月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	575,977,970	100.0	-3.3 (-4.1)
10都市	382,724,987	66.4	-2.7 (-3.2)
札幌	13,693,344	2.4	-3.0
仙台	8,619,319	1.5	-5.8
東京	141,682,782	24.6	-1.0 (-1.7)
横浜	33,188,707	5.8	-2.8
名古屋	35,175,061	6.1	-2.9
京都	22,903,643	4.0	-1.4
大阪	78,186,601	13.6	-4.6
神戸	16,022,274	2.8	-0.9 (-6.2)
広島	14,369,899	2.5	-6.0
福岡	18,883,357	3.3	-4.9
10都市以外の地区	193,252,983	33.6	-4.6 (-5.9)
北海道	2,848,916	0.5	-7.3
東北	9,069,349	1.6	-5.4
関東	91,058,422	15.8	-4.3 (-6.2)
中部	15,016,479	2.6	-7.1
近畿	18,721,675	3.3	-2.6
中国	13,460,275	2.3	-4.7
四国	11,351,156	2.0	-4.4
九州	31,726,711	5.5	-4.9 (-7.7)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	575,977,970	100.0	-3.3 (-4.1)
紳士服・洋品	36,437,719	6.3	-4.4 (-5.0)
婦人服・洋品	130,665,412	22.7	-3.1 (-3.9)
子供服・洋品	12,418,254	2.2	-5.6 (-7.2)
その他衣料品	14,900,603	2.6	-1.8 (-2.2)
衣 料 品	194,421,988	33.8	-3.4 (-4.2)
身のまわり品	69,567,683	12.1	-3.8 (-5.3)
化粧品	27,296,005	4.7	-1.6 (-2.1)
美術・宝飾・貴金属	25,506,403	4.4	-0.3 (-0.8)
その他雑貨	19,414,708	3.4	-7.2 (-7.5)
雑 貨	72,217,116	12.5	-2.7 (-3.2)
家 具	7,315,210	1.3	-3.2 (-3.4)
家 電	1,850,515	0.3	9.3 (9.2)
その他家庭用品	17,393,057	3.0	-4.7 (-5.8)
家 庭 用 品	26,558,782	4.6	-3.4 (-4.2)
生 鮮 食 品	36,300,128	6.3	-4.0 (-4.6)
菓 子	42,520,116	7.4	-2.3 (-2.9)
惣 菜	32,955,424	5.7	0.6 (0.0)
その他食料品	69,402,127	12.0	-5.5 (-6.2)
食 料 品	181,177,795	31.5	-3.4 (-4.0)
食 堂 喫 茶	16,270,477	2.8	-4.2 (-4.6)
サ ー ビ ス	5,534,310	1.0	4.5 (2.9)
そ の 他	10,229,819	1.8	-3.2 (-4.5)
商 品 券	27,209,792	4.7	-9.7 (-10.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計に消費税は含まれておりません。

NEWS LETTER

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|---------------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -2.7% (店舗数調整後 / 3か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -4.6% (// / 4か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-2.7	-1.8	3か月連続マイナス
札幌	-3.0	-0.1	4か月連続マイナス
仙台	-5.8	-0.1	3か月連続マイナス
東京	-1.0	-0.2	2か月連続マイナス
横浜	-2.8	-0.2	3か月連続マイナス
名古屋	-2.9	-0.2	2か月ぶりマイナス
京都	-1.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
大阪	-4.6	-0.6	4か月連続マイナス
神戸	-0.9	0.0	3か月ぶりマイナス
広島	-6.0	-0.2	4か月連続マイナス
福岡	-4.9	-0.2	2か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	-4.6	-1.6	4か月連続マイナス
北海道	-7.3	0.0	4か月連続マイナス*
東北	-5.4	-0.1	3か月連続マイナス*
関東	-4.3	-0.7	4か月連続マイナス
中部	-7.1	-0.2	4か月連続マイナス
近畿	-2.6	-0.1	4か月連続マイナス
中国	-4.7	-0.1	4か月連続マイナス*
四国	-4.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
九州	-4.9	-0.3	5か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、6か月ぶりに全品目がマイナスとなった。また、惣菜が2か月連続、家電が6か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.3	—	3か月連続マイナス
紳士服・洋品	-4.4	-0.3	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	-3.1	-0.7	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-5.6	-0.1	4か月連続マイナス
その他衣料品	-1.8	0.0	4か月連続マイナス
衣料品	-3.4	-1.2	3か月連続マイナス
身のまわり品	-3.8	-0.5	3か月連続マイナス
化粧品	-1.6	-0.1	6か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-0.3	0.0	9か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-7.2	-0.3	4か月連続マイナス*
雑貨	-2.7	-0.3	6か月ぶりマイナス
家具	-3.2	0.0	2か月ぶりマイナス
家電	9.3	0.0	6か月連続プラス
その他家庭用品	-4.7	-0.1	4か月連続マイナス
家庭用品	-3.4	-0.2	3か月連続マイナス
生鮮食品	-4.0	-0.3	4か月連続マイナス*
菓子	-2.3	-0.2	2か月ぶりマイナス*
惣菜	0.6	0.0	2か月連続プラス*
その他食料品	-5.5	-0.7	2か月連続マイナス*
食料品	-3.4	-1.1	4か月連続マイナス
食堂喫茶	-4.2	-0.1	3か月連続マイナス
サービス	4.5	0.0	2か月連続プラス
その他	-3.2	-0.1	3か月連続マイナス
商品券	-9.7	-0.5	17か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

NEWS LETTER

平成24年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年8月21日

I. 概況

1. 売上高総額	1,416億円余
2. 前年同月比	-1.0% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭 の増減	店頭-2.0%(89.7%) : 非店頭8.1%(10.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	911,369㎡ (前年同月比:-0.8%)
6. 総従業員数	19,141人 (前年同月比:-0.7%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 -1.3%、1-3月 6.1%、2-4月 10.2%、 3-5月 11.3%、4-6月 2.8%、5-7月 0.2%

[参考] 平成23年7月の売上高増減率は-1.3% (店舗数調整後)

【7月売上の特徴】

- (1) 都内各店の入店客数は、前年比で概ね3%~4%の減少であった。中旬までの天候不順(低温多雨)、土曜一日減などが背景となっている。
- (2) 夏のセールの7月実績では、前年を若干下回る店が多かったが、その一方で、値頃感のあるプロパー商材(正価品)の売上は大きな伸びを見せている。
- (3) 東京地区の中元商戦は、6月と7月を合わせた期間合計ではほぼ前年並みの結果となった。ネット受注や自家需要についても引き続き好調に推移した。
- (4) 東京地区の高額品(美・宝・貴:+2.6%)は好調を維持している。高級時計や宝石等の動きが良く、購入動機も投機でなく自家需要であることから、本物志向の強まりが見て取れる。
- (5) 都内各店における8月中間段階までの商況は、前年並みで推移している。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比+0.4日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 2店、②変化なし: 4店、③減少した: 14店、④不明: 0店
- (3) 7月歳時記(夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み)の売上(同上)
 - ①増加した: 3店、②変化なし: 8店、③減少した: 5店、④不明: 4店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見ると傾向値)
 - ①増加する: 2店、②変化なし: 13店、③減少する: 4店、④不明: 1店

NEWS LETTER

東京地区百貨店 売上高速報 2012年07月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	141,682,782	100.0	-1.0 (-1.7)
紳士服・洋品	10,717,304	7.6	-2.2
婦人服・洋品	29,816,579	21.0	-1.8 (-2.4)
子供服・洋品	2,278,692	1.6	-3.0
その他衣料品	3,035,396	2.1	5.8
衣 料 品	45,847,971	32.4	-1.5 (-1.9)
身のまわり品	19,051,798	13.4	0.9 (-1.8)
化粧品	6,609,446	4.7	-0.9
美術・宝飾・貴金属	7,002,716	4.9	2.6
その他雑貨	5,907,979	4.2	-10.0
雑 貨	19,520,141	13.8	-2.7
家 具	2,120,034	1.5	-2.1
家 電	855,954	0.6	34.6
その他家庭用品	4,500,727	3.2	-8.6 (-9.6)
家 庭 用 品	7,476,715	5.3	-3.2 (-3.9)
生 鮮 食 品	6,373,783	4.5	-0.5
菓 子	10,603,930	7.5	2.1
惣 菜	7,645,697	5.4	3.7
その他食料品	16,148,422	11.4	-3.6 (-4.1)
食 料 品	40,771,832	28.8	-0.4 (-0.5)
食 堂 喫 茶	3,537,570	2.5	-5.6 (-6.4)
サ ー ビ ス	2,292,824	1.6	12.9
そ の 他	3,183,931	2.2	-2.5 (-5.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	5,342,298 千円	-21.4 (-21.6)
従 業 員 数	19,141 人	-0.7
店 舗 面 積	911,369 m ²	-0.8

営 業 日 数	31.0 日	前年	30.6 日
---------	--------	----	--------

NEWS LETTER

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が5か月連続のプラス。マイナスは衣料品、雑貨、家庭用品、食料品。また、美術・宝飾・貴金属、家電、菓子が6か月連続、惣菜が12か月連続のプラス、その他衣料品が2か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.0	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-2.2	-0.2	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-1.8	-0.4	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.0	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	5.8	0.1	2か月ぶりプラス
衣料品	-1.5	-0.5	2か月連続マイナス
身のまわり品	0.9	0.1	5か月連続プラス
化粧品	-0.9	0.0	6か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	2.6	0.1	6か月連続プラス*
その他雑貨	-10.0	-0.5	3か月連続マイナス*
雑貨	-2.7	-0.4	6か月ぶりマイナス
家具	-2.1	0.0	4か月ぶりマイナス
家電	34.6	0.2	6か月連続プラス
その他家庭用品	-8.6	-0.3	3か月連続マイナス
家庭用品	-3.2	-0.2	5か月ぶりマイナス
生鮮食品	-0.5	0.0	7か月ぶりマイナス*
菓子	2.1	0.2	6か月連続プラス*
惣菜	3.7	0.2	12か月連続プラス*
その他食料品	-3.6	-0.4	2か月連続マイナス*
食料品	-0.4	-0.1	6か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-5.6	-0.1	2か月連続マイナス
サービス	12.9	0.2	2か月連続プラス
その他	-2.5	-0.1	3か月連続マイナス
商品券	-21.4	-1.0	15か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>